

## 審議会等の会議結果報告

|            |  |
|------------|--|
| 1. 会 議 名   | 令和7年度 第2回松阪市図書館協議会   |
| 2. 開 催 日 時 | 令和8年3月19日(木) 午後3時00分~午後4時30分   |
| 3. 開 催 場 所 | 松阪図書館 2階 講座室   |
| 4. 出席者氏名   | (委 員)<br>◎辻淳子、○中村陽子、相口学、小野家代子、西岡尚子、西岡裕子、新良公子、濱田和男、山中数子、横山みち代<br>(◎会長 ○副会長)<br><br>(事務局)<br>松阪市図書館館長(株式会社図書館流通センター) 松岡<br>生涯学習課長 小泉<br>生涯学習課長補佐 山本<br>生涯学習係長 杉田<br>生涯学習係 森岡 |
| 5. 公開及び非公開 | 公 開  |
| 6. 傍 聴 者 数 | 0人   |
| 7. 担 当     | 松阪市教育委員会事務局 生涯学習課<br>TEL 0598-53-4396<br>FAX 0598-26-8816<br>e-mail ikig.div@city.matsusaka.mie.jp   |

協議事項・議事録  
別紙

## 令和7年度 第2回松阪市図書館協議会 議事録

○開催日時：令和8年3月19日（木）午後3時00分から午後4時30分

○開催場所：松阪図書館 2階 講座室

○議題

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 自己紹介
4. 協議事項
  - ①令和7年度松阪市図書館事業報告について
  - ②松阪市図書館指定管理について
  - ③その他
5. 閉会

○出席者氏名

【委員】辻淳子、中村陽子、相口学、小野家代子、西岡尚子、西岡裕子、新良公子、濱田和男、山中数子、横山みち代

計12名

【事務局】

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 松阪市図書館館長（株式会社図書館流通センター） | 松岡 |
| 生涯学習課長                  | 小泉 |
| 生涯学習課長補佐                | 山本 |
| 生涯学習係長                  | 杉田 |
| 生涯学習係                   | 森岡 |

## (開会・挨拶)

### ●課長あいさつ

課長：皆様こんにちは。開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

まず委員の皆様におかれましてはご多忙の中、本日も協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また日ごろから松阪市の図書館運営、ならびに本市の生涯学習及び読書推進に多大なるご尽力、ご協力賜り厚くお礼申し上げます。

本日の協議会では主に、今年度の取り組みの報告が予定されております。また、第5期の図書館の指定管理者選定結果ということもご報告をさせていただきますが、引き続き図書館流通センターさんの方に決定いたしましたので、これまで以上に魅力ある企画をお願いしたいなと思っております。

さらに、日ごろから本市の読書活動を力強く支えてくださっている読書ボランティアの皆様との連携につきましても、協議や意見交換をお願いしたいと考えております。子どもの読書離れが懸念される中、幼少期や小学校低学年での読書習慣を身に付けることが、学力向上につながっていくのではないかと痛感しております。

昨年度策定いたしました第4次松阪市子ども読書計画というのを、年齢に応じた具体的な施策というのが載っております。それを実現するにはボランティアの皆様のお力添えというのが不可欠ではないかと思っております。

本日は限られた時間ではございますが、松阪市の図書館が市民の皆様にとってさらに親しまれる、役立つ場となりますよう、委員の皆様それぞれの専門的なお立場や市民の視点から、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、本日の会議が実りあるものとなりますようお願い申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い致します。

事務局：続きまして、開会にあたりまして会長よりご挨拶いただければと思いますので、よろしくお願い致します。

### ●会長あいさつ

会長：皆さん今日はどうもありがとうございます。どうぞよろしくお願い致します。

本当にパラリンピック、オリンピック、WBC。いろんなことが世界の中で楽しまれている一方で、今、私たちが今いる時間でも、命を落としているという。戦争ということが起こっている国があるということですね。本当に私も子どものそばにおりますが、子どもたちにとって命を落とすことがないような日本の国であってほしいなとすごく思います。今日も図書の話についてありますが、世界からみんなが手を携えていけるような、図書を通じての教育とか、いろんなことをしみじみ考えていかななくてはならないかなって、最近すごく思います。

今日はいろんな意見をいただきながら、先ほど課長さんから話があった、子どもたちが幸せであるように、自分たちでいろいろ考えていきたいなど。子どもを産まないと未来はないということです。よろしくお願いいたします。

事務局：ありがとうございます。

それでは、協議事項に入る前に資料ですけれども、事前にお配りさせていただきました資料を皆様お持ちでしょうか？よろしいですか？1点、事項書だけ差し替えがございまして、皆様の机の上に置かせていただきました。その他事項のところは二点。地域開放型図書館の実績報告というところと、読書ボランティアとの連携について。この二点を事前にお配りをしたところに書かせていただいております。地域開放型図書館の実績報告につきましては、令和8年度の第1回図書館協議会の方で改めてご報告を申し上げたいと思いますので、本日の相談事項としては読書ボランティア等の連携について。この一点にさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局：それでは、早速ではございますが、事項3の協議事項に入らせていただきます。これからの進行につきましては、協議会会議運営規則第3条第3項により、辻会長にお願いしたいと思いますので、辻会長よろしくお願いいたします。

委員長：着座にて進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

委員長：それでは、事項書に基づきまして進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

最初に、事項3-1。令和7年度松阪市図書館概要でございますが、事務局からの説明をよろしくお願いいたします。

(事務局説明)

委員長：ありがとうございました。1-1 から 5 まで説明をいただいたわけですが、事務局からの説明につきまして、皆様から何かご質問、ご意見ありましたら頂戴したいと思いますが、どうでしょうか？ せっかくの機会です。どうぞご意見を。

委員：すみません。飯高地区の貸し出し統計の方ですけども、松阪図書館は昨年度から減になっているのですが、逆に嬉野図書館の方は増えているというか、嬉野図書館の方が多くなっているのかなっていう形なので。飯高の方はどちらからも遠いと思うのに、今年だけ減ったり、増えたりしているのはどうしてなのかなと。ちょっと補助が変わったのか、何か特別なことがあるのか。どうでしょうか？

委員長：どうですか？事務局の方。この統計の数字ですが。

事務局：特に何か運営のやり方とかお渡しの仕方とかが変わったわけではなくて。ちょっと言い方は悪いですけど、たまたまというところがあるかもしれません。森地区の数字がほとんど、かなり上がった部分というのはそこになってくるので。森地区の住民の方が嬉野図書館の方から借りられたというところが大きいのかなと思います。

委員長：ありがとうございます。大丈夫ですか？

委員：はい。

委員：ありがとうございました。よく図書館運営されていることが今年の状況がよくわかりました。もちろん貸し出し、あるいは来館者数、蔵書量とかそういう資料が一つあるかと思うのですが、私が思う中では、どれだけ図書館に足を運んでもらえるか。いつも思うのですが、この社会の中で、これだけ静かに本当に音を出すのが憚れるような、こんな空間があるのかなということに。実際に社会の生活を考えた時に、この図書館というのは人にとって大事な空間じゃないかなと、いつも私は思います。

もちろんそれだけでは図書館の存在感はないわけで。そもそも図書館に

足を運んでもらう努力というのが、この中には感じるすることができます。私、ビブリオバトルもずっと出させていただいていた中でももちろんそれも思っているのですけど。例えば目につくだけでもなるほどと思うものがあります。ゆるっと読書会。これは確かに足を運んでもらう。あるいは図書館に親近感を持ってもらう。それは非常に意味のあるものだと思う。あるいは私の推し本買いませんか？ なんていうものがある。本当にこうやっていろいろと努力されていることがわかりました。

英語でお話、楽しむお話し会なんていうのは、図書館でないとできないと思う。そういうことがふんだんにあります。東海テレビの音読広場なんて言っても、なかなかそういう話し方を一般の方がそういうのに触れ、そうやって学んでいく、自分の見識を広めていくということは、そんなことは図書館でないとできないこと。

その中で、他にもいろいろいっぱいあって。どうやって図書館が努力してくださっていることが、そのものが図書館の存在感。人にどれだけ足を運んでもらうか。図書館見学でも、こんな圧倒される。図書館がどういうふうにして存在しているかということ、子どもたちに感じてもらう。あるいは大人の人。そしてこれからの生活の中で、図書館に足を運んでもらうということの意味というのが、私はすごく大きい。こうやっていろいろ工夫されているというのは、やっぱりなくてはならない。待ちの姿勢だけではなくて、こうやって足を運んでもらうということが非常に大事だなということ、改めてこの資料の中から読み取らせていただきました。ありがとうございます。

委員長：ありがとうございます。非常によく取り組んでいただいているのかなと思います。

委員長：他にこれを踏まえて、他にもご意見がございましたら。せっかくの機会です。ございませんか？

委員：すみません。何度も。本当に今年はたくさんの企画をしていただいたなって。冊子というか、ページ数を見ただけでも、すごい取り組みをたくさんなさっているんだなということ、資料をいただいて感じました。その結果、いろんなところで図書館に来ていただく方が増えてきているのではないかなと。確かに貸出し冊数という点だけみれば減少のところもあろうかと思うのですけど。次の指定管理者に選定されます図書館流通センターさんの将来の展望の中に、本を借りる場所から市

民の学び、交流、想像を支える。地域の知的インフラへ進化するという文言が入っていました。確かに借りる本の数だけで評価するということはだめじゃないかなというのは改めて感じさせてもらいました。本当にたくさんの方が、数的にはいろいろあろうかと思えますけれども、交流されているなと思います。

私が利用させていただいている嬉野図書館でも、午前中は年配の方の男性を中心にほとんどの席が埋まっております。午後は若い方。学生とか、それから大学生ぐらいなのか。時期によっては本当に席が埋まっています。ここを使って勉強なさったりされているのだなということを感じます。なので、図書館自体としては、借りる本の数というよりは活用なさっている方が多いのだなと改めて感じて、ありがたいなと思って見せてもらっております。

委員長：ありがとうございます。事業に対して、お褒めの言葉をいただいているのかなと思います。

委員長：他にどうでしょうか？ ご意見ありませんでしょうか？

委員長：よろしいでしょうか？ それでは進めさせていただこうかと思えますので。ご意見ございませんので。次に、令和7年度の事業について、でございますが。事務局よろしく願いいたします。

#### (事務局説明)

委員長：ありがとうございます。いろんな行事の紹介等もありました。ご報告いただきましたけども、ご意見等ございましたら頂戴いただければと思えますが、どうでしょうか？ 皆さんどうですか？ ご意見等いただければ。

委員：今のことですか？

委員長：今のでも、何かありましたら前のでもあれですけども。ご意見等。

委員：ご意見というよりも感想と言いますか。私はお話キャラバンのメンバーなんですけども、図書館をお借りしておはなし会をさせていただいています。今日も会がここでありました。月二回会があります。図書館に

来る回数は自分も本を借りるし、多いと思います。やっぱり私も、図書館さんがこんなにたくさん的一年間を通じていろんな行事をしていただいていうことに驚きました。なんとなくこれ見たことあるなとか、どこかで聞いたなとか、そういう感じはあるのですけど。多分この行事に参加したことは一度もないと思います。

でも、こうやって見ておりますと、例えばアナウンサーの勉強会があるって。私も朗読をやっておりますので、これなら参加したかったな、でも、これ知らなかったなって思います。なので、これはどこで知れるのだろう。図書館からのお知らせとかでしょうか。この情報をどこで知ることができるのか。そのへんが自分の認識不足を痛感しました。ちょっと教えていただきたいなと思います。

委員長：今ここで回答いただければ。お願いします。

館長：まず広報の方に図書館のページがあるかと思います。そちらでさせて周知させていただいたりとかしています。詳しいことになると、二次元コードを読んでいただいて、ホームページを見ていただく。やはり限られた枠内でありますので、「いつからいつにあります。申し込みはいつからです」という感じです。詳しくは図書館のホームページを見てくださいということで、ホームページの方を見ていただく方法とか。館内にもチラシなどを張らせてはいただいています。あとは、図書館だよりを各小中学校とか公民館の方に配布しています。図書館だよりにもこういうイベントがありますよと案内をさせてはいただいております。

委員長：はい、ありがとうございます。

委員長：他にどうですか？ この事業に対してご意見ありましたら。せつかくの機会ですので。皆さんよろしいですか？ では、次に進ませてもらってよろしいですか？

委員長：それでは次にまいります。3番の方の、第5期の図書館の指定管理選定の結果報告を事務局の方からよろしく願いいたします。

(事務局説明)

委員長：ありがとうございます。この選定された結果につきましてですが、皆さんからご意見等頂戴いただければと思いますが、いかがでしょうか

か？

委員：何度も聞いて申し訳ありません。事業計画の中の8番。学校連携や地域住民関係機関との連携の中で、学校図書館責任者が常駐する学校読書支援センターを運営・展開しますというふうな予定になっています。現在学校へ司書さんが回ってもらっていますので、その方と支援室センターに常駐される責任者の方は、また別の方で人数が増えて対応していただくというふうな形でしょうか？ それとも、学校を回ってみえる方が常駐を兼ねるようになると、ちょっと人数的に減の形になって、学校にとっては不利かなってというふうなことは思ったので。どういう形の運営かなってというのがもしおわかりになるのであれば、教えていただければと。

委員長：では、すみません。よろしく願います。

事務局：すみません。先ほど見ていただいた8番のところについてです。まず小中学校への司書の派遣ということで、一部の嬉野管内の小中学校と天白小学校については専属の司書です。直営で運営しておりますので、別になります。本庁管内、飯南・飯高管内の小中学校においては、松阪図書館の図書館流通センターの司書を派遣しているという事業をしています。体制としては、これまでと変わることはございません。図書館内に学校読書室支援センターというのを置いていただいて、そこに、いわゆる責任者、学校読書室の担当の責任者が常駐するという形です。基本的に三人責任者がいて、派遣先の司書のサポートとかもございまして、そういうのをやっていただきます。これまでと変わらず、学校への派遣回数とか、そういったところは今まで通りの回数をしているような形でございます。

委員長：ありがとうございます。どうですか？

委員：ありがとうございます。嬉野は特別な形で、合併前から司書さんが入られているので、ここがカットになるっていうのはつらいかなって思ったので。

事務局：嬉野についてはそのまま引き続き。今まで担当していた方がそのままやっていた形になります。

委員：了解いたしました。

委員長：ありがとうございます。

委員長：他にどうでしょうか？この指定管理。

委員：私も、この学校連携や地域住民関係機関等との連携。ここが目に留まりますね。どうやって図書館のいろんな行事やイベントを知っていったらいいのか。もっとそのへんのところを。例えば、各自治会の回覧でいろんなものが流れるのですけども。図書館に専用のチラシを用意して。こんな行事を一年間やりますとか。もっとそのへんの企画をなんとか工夫していただいて、周知をしてもらうということがあれば、もっとこっちに向かってもらえるのではないかなと思います。

それから、学校連携というのはこれからの図書館運営というか図書館の在り方として重要な鍵を握っている。学校にとって身近な存在として図書館が必要。前回は申し上げましたが、ここでいろんな専門的な方もたくさんみえますので、もっと図書館を学校へ向けて発信をしてもらう。足を運んでもらう。学校と共に計画をすとかね。こういうことが非常に重要だと私は思いました。

委員長：ありがとうございました。

委員長：他、どうでしょう？ 選定につきましてよろしいですか？

委員：3番の利用者に対するサービスの①ですね。公平な利用。障がい者・高齢者等に配慮したサービスというところですね。私どもは音訳グループで、視覚障がい者向けの音訳のサービスをしています。声で読む本という感じです。

読書バリアフリーの取り組みということで、今回も3月8日にバリアフリーの映画の上映会をしていただいて。この3年間ぐらいはいつも拝見しています。音訳グループとしてもこの上映会に合わせて、音訳のサービスの説明もさせていただいています。3年間見させてもらいましたけれども、年々盛況で、今回はとても多かったと思います。3年前ぐらいはとても少なかったのですが、だいぶ周知してもらい、広報に載せたりしていただいたみたいですね。今回は障がい者の方で車いすの方なんかも

一番前の席に。そういう席も設けてもらっていたみたいです。とてもいい感じだなと思って拝見しております。

今後もこの読書バリアフリーについて、図書館の方とも定期的に私どもも話し合いをさせてもらっていますので、続けていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

委員長：いろんなご意見いただいて。他にどうでしょうか？ この選定はとても大事でしたので。何かありますか？

委員：私も図書館には週一回来ています。いろいろやっていただいているのは、張ってあるのはさらっと見めています。これだけ興味深いものがたくさんあるのだなというのを、説明を聞いて初めて納得させていただきました。

あと、ちょっとお聞きします。移動図書館の LiBOON というのは、どういう関係なののでしょうか？

委員長：ぜひ詳細をご説明いただければ。よろしく願いします。

館長：LiBOON ですけれども、私どもの会社の図書館流通センターが持っている車があります。大きい移動図書館車ってありますよね。他の図書館ですと。本当に小さい軽トラみたいな感じの荷台のところに本を積んで回れるというふうな車になっておまして。ちょっとイベントに使わせていただくということで、今回お借りしました。大丈夫でしょうか？

委員：私の友人が、市の関係する図書館の移動図書館があって、それを決まった日の決まった時間に、いくつかの地点に行くというのをやっていたので。そういうのがあったら、それこそ玄関口でも本に触れることができるのになって思っています。この LiBOON ってなんだろうなって。

館長：そうですね。実際そのように。

委員：本当にバスのようなのでやっているという。

館長：そうですね。大きいところだと、バスのようなもので各所を回っているという図書館もありますし。このような小さい形で回っている図書

館もごございます。

委員：ありがとうございます。

委員長：ありがとうございます。私もちょっと興味あります。この指定管理を始める前は、飯南・飯高の遠隔のお子さんたちとか、住民の方にサービスをというのを望んでいて。本当にこの流通センターさんが少しずつですが、着々と望みを叶えていただいています。こういう移動の図書もありかなというので。聞きましたらね、津市なんかですと、いつもこの曜日とこの曜日にここの公園にいますよと。いろんな意味でこういう移動図書館がね。

ただ、やっぱり利用していただく方が。さっきの話じゃないけど、周知がないと、「なんの車？」みたいになって通り過ぎると残念です。そのへんも今後の課題になるかと思いますが。

委員長：他、どうでしょうか？

委員：私も LiBOON にすごい興味があります。松阪市でやっておられるかわからないのですが、子育て支援の拠点とか。私の友人が、実はまだ入園する前のお子さん方や赤ちゃん抱えたお母さんたちが集まって。みんな運動会をするなど、イベントを月に一回やっています。保健センターとか、そういう場所です。そこへ LiBOON が来て、絵本ばかり積んであるのをお母さんたちで「あれもいいね。これもいいね」って手に取る機会があったら楽しそうだと、写真を見た時に思いました。そういうイベントがあるということを図書館さんがキャッチされているかはわかりませんが。個人的に、やられているところとかに呼べる機会があったらと思います。何か良いルートがあったら教えていただきたいなとちょっと思いました。以上です。

委員長：ありがとうございます。選定につきましてのいろんなご意見をいただいておりますが。

委員：飯南・飯高のことを言っていたので。私、飯高在住です。一番奥の香肌小学校学校運営協議会の委員をさせてもらっています。先日その会があった時に図書館のことも話題に出ておりました。さっきの話に出たように、知らない人がいるというのは。松阪図書館の本がそっち

にも行っていて、そこでも借りられるとか。そういうこととかも知らない方も多いのかなということ。その周知を何とか皆さんにできたらいいのに、ということが話題に上がっていました。そうやって学校にも頼ったりしながらやっております。私も何回か各学校回りましたが、どこの学校も坂の上にありますので、これはなかなか行きづらいところです。そういう部分もあったりすると思います。いろいろ、例えばお茶を用意していただくなど、いろんな工夫はしていただいておりますが、なかなか広がっていかないということがあのような感じ。そのへんのところも見ていきたいなというふうなことを思っています。以上です。

委員長：選定につきまして、いろいろご意見をいただきました。ありがとうございました。この選定が最初、松阪図書館からスタートした時から、この流通センターさんがずっと受託されています。本当に20年近くお願いをしながら、少しずつ少しずつ住民に広がって。選定した私もよかったですと思います。ありがとうございます。

委員長：それでは、4番。その他につきまして、事務局からご説明等いただければと思いますので、お願いいたします。

事務局：ありがとうございます。その他としまして、読書ボランティアとの連携ということで、一点書かせてもらっています。資料は特に付けてはございませんけれども。今年度ですね、読み聞かせボランティアのためのブックトーク交流会というのを1月25日にさせていただきました。みんなの読書活動応援ネットワーク。読書ボランティアさんのネットワークさんが主催で、後援を松阪市教育委員会がさせていただくというような会でした。ボランティアさんも学校に入っています。朝の時間に読み聞かせ、あるいはポップの作成とか、いろんな活動をしていただいているボランティアさんが多いと思います。それぞれのボランティアさんが活動していく中で、自分の活動が、本当に学校が望むものなのかどうか、この活動を続けていることが果たして子どもたちのためになっているのかどうか、そのあたりが悩みとして皆さん抱えつつ、活動していただいているということをお聞きしました。このネットワークさんの方もボランティア同士のつながりを持って、他のボランティアさんがどのような活動をしているのかを知りたい。うまくいっている事例があるのかないのか。あるなら、どういうところ

から学校さんへアプローチしてもらっているかとか。例えば、司書派遣という話が先ほどありました。小学校ですと、月にだいたい2、3回程度しか司書が派遣できない状況で、司書とボランティアさんが一緒に活動できるタイミングが限られている。また、学校の先生も結構忙しいので、そのあたりのつながりって難しいよねという話もあります。まずはボランティアさんだけの交流会をして、情報も共有しながら、良い事例がないかと探りながらやっていきたいというのが始まりです。来年度もこういう取り組みをやっていきたいということをおっしゃっていただいています。市としても第4次読書計画のところでボランティアさんの活動というところを、やっぱり大切にしていくことを考えておりますので、連携というキーワードを使ってですね。従って、こういう取り組みに市としても入っていくような形になってくると思います。なぜこの話をさせていただいたかという、図書館協議会の委員の皆様にも、こういった取り組みのことをまたご案内させていただいて、知っていただく形を考えておりますのでご報告をさせていただきました。以上でございます。

委員長：ありがとうございました。事務局から新しいボランティアの皆さんの活動についての連携ということでご説明がありました。ボランティアもいろんな方がおりますけど、何か今のことについてご質問ありませんか？ ご意見等ございませんか？よろしいですか？

委員長：今からそういうふうなつながりをしながら、子どもたちを中心にということですので。始まっているいろんな形の意見が出てくるかわかりませんが、でも。また今、何かそうしている中で、関わっている方もこの中にお見えになるかもわかりませんので。その時は事務局等にご質問いただければと思いますので。

委員長：今日の事項といたしましては、一応これですべてが終了したのかなと思えます。すみません。ご質問ありました。

委員：すみません。その他のところでお話させていただけるのかなと思っておりまして。私たちの活動をちょっとだけ言わせてください。あとお願いが図書館の方にございます。

私はお話キャラバンで活動しています。今22名が活動をしています。おかげさまで若い人たちがここ2、3年増えてきました。10代後半それ

から 20 代後半の方です。あと 30 代、40 代はいないと思います。あと確かめたことありませんが、多分 50 代、60 代、私たちの 70 代の立場の人がみえます。非常に幅広い年齢層で今活動しています。今日も定例会がありまして、今日打ち上げと言いますか、反省会がフレックスホテルでございます。会の人たちといろいろ交流したりしております。

あと朗読会の勉強会ともちょっとつながりがあって。私は所属していませんが、希望者は朗読の勉強会に入っています。それもひと月に 1 回勉強会があります。そこへも若い人が入って、年間 2 回、旧小津邸か、あともう一つ忘れまして。その二つで 2 回朗読の発表会というのをさせていただいています。非常に勉強になるし、若い人たちの読みを聞いて、こんなに勢いがあるんだとか。まだ経験が少ないのに、こんなに素敵な読みをされるんだなって思います。私たち高齢者は非常に刺激を受けて、とても良い広がりと言いますか、活動になっております。すみません。こんなふうな言い方になってしまいました。

委員：それで、ちょっと困っていることがあります。一つは空調の問題です。お話会。読み聞かせ室でだいたいさせていただいています。夏は、あそこは毎年のことですけどエアコンがないので、毎年いろいろ工夫をしていただいて、なんとか真夏をしのいでいます。今年は空調が壊れたということがあって、真夏はここに場所を変えてさせてもらっていました。でも、やっぱりここは 2 階に上がって来ないといけないので、ちょっと抵抗があるようで。若干人数が減ったように感じていましたので、来年度はどうなるのかなとちょっと期待をしております。

委員：それからもう一つですが、読み聞かせをさせていただいた後、子どもたちにカードを渡してありまして、終わりますとそのカードにスタンプを押します。

それが 10 個たまるとご褒美ということで、小さい小物を渡しております。この発案は、多分指定管理が導入されてから、図書館さんの方のスタッフさんが手作りされていると私はお聞きしています。今日聞きましたら、メンバーさんの友人が手作りした物だよということも聞いて、どうなっているのかなと思いました。

やっぱり、以前は「やったあ」という感じで、ご褒美を渡すと本当に喜んでいましたが、最近ちょっと時代というか、子どもたちの好みが、今の風潮とは違うみたいで。ちょっと「うん？」という反応。ちょっとそういう感じになってきたというのをメンバーが言っていました。

子どもたちが本当に 10 回来てよかったって、それが目当てで来る子もいます。それが目当てでも図書館に来る、ちょっとでも本に触れる、読みに触れることで読書につながっていくだろうなと思って、これを続けていきたいと思っています。

ご褒美があまりお金のかからないもので何かないかなって、今日も話をしていました。資料 2-3 のところの嬉野図書館のところに、リサイクルフェア 保存期間の過ぎた雑誌・図書をお譲りするというのがあるので、こんなのも一つの方法なのかなとったりしました。その下の新春ガチャ、ミッションクリアで運試し。ミッションのクリア数に応じてガチャガチャを回すとおみくじが入るっていう。これはちょっとお金がかかるのかなって思ったりしますが、そういうものが子どもたち、若いお母さんたちも喜んでくれるかなって。そんなことを思いました。それが無理なら、私たちお話キャラバンは学校にも行っておりますので、少しお礼をいただきます。そのお礼がありますので、それでちょっと何か買って、お話キャラバンの方で用意しようかという話も今日出ておりました。

そんなことで、ちょっとそれをお願いしたいなということですよ。

委員長：ありがとうございます。ちょっと空調を。だんだん暑くなってきて、温度が年々上がってきています。空調の方はどうでしょうか？

事務局：そうですね。夏に空調が壊れてしましまして、ご迷惑をおかけしました。申し訳ございませんでした。

空調につきましては、機械自体は直っております。2月に修理が終わりましたので、全館空調というのは直っておる状況ですが、元々読み聞かせ室のところについては課題があったと言いますか、日差しがよく当たるということがあって、効きにくいということは伺っています。今年度、スポットクーラーを新たに購入させてもらったところです。そういったところで対策が取ればいいのですけれども。台数を増やしたりして。なかなかあの場所に新たに空調を置くということは難しいと思いますので。そういった形で対応していきたいと思っております。

委員長：ぜひ、これはお願いしたいかなと思います。どんどん年々温度が上がっていますので。そのことで、せっかく行ったら部屋の温度が外よりも暑いという場合もありますのでね。ちょっとそのへんは、今の時代です。なんとかすみませんが、お願いできれば。予算もありますけども、

お願いしたいなと思います。特にお子さんは熱中症になったら心配です。図書館ではそんなことはないと思いますが。

委員長：あとは、キャラバンさんの取り組みのところ。あれはどうですかね？ご質問がキャラバンさんからありましたけど。

館長：ちょっと私も、経緯がどうだったかというのを考えておりました。こちらでご用意はできますので、そちらでよろしいですか？また、こういうものにしたいですと相談させていただくということでもよろしいでしょうか？一度持ち帰って、どのようなものがあるのかというのをスタッフと話をしたいと思います。

委員：はい。よろしくお願いします。

委員長：ありがとうございます。一応議題としてはその他のところで、委員さんからありましたが、どうですか？

委員：さっきのおはなし会ですけど、もしですよ。エレベーターを使ってここに上がってもらったら、ここを仕切ってもらったら。ここでやったんですよ？前に、暑い時は。だったら、基本的にはエレベーターでここへ上がってもらって、快適な温度の元であるほうがよいのでは。話す人も快適だし、聞く人も熱中症にならないと思います。おはなし会の時だけこの部屋を、この時だけ特別な部屋として飾って、皆さんにやってもらったら好評なんじゃないですかね。2階だと音は遮断されますし。開けて、大きな業務用の厨房用の空調の中でやるよりはここでやる方が、子どもさんもリラックスできるし、付き添いで来ているご家族の方もリラックスできて、快適になってもらえるのではないかなとは思いますが。下だとガチャガチャになっています。結構夏はここに涼みに来ている人もいますので。一度そういう案も考えてみてはいかがでしょうか？

委員：それはもうすでにしてもらっています。去年、一昨年からですかね。ここを使わせていただいて。

館長：一応暑いときはこの部屋を取らせてもらってないので。あまりにも暑いというので、私たちも温度を下げつつしていますが、やっぱり限界があ

るので。よかったらこちらをお使いにということで。

委員：それもさせてもらっていますが、やはり下の方がガラス張りなので、「ここでやってるな」というのがわかって、通りすがりに入ってくる人もあります。やっぱり入りやすい。それで、そんなにやかましくはない。ちゃんと集中はできます。

委員：暑さだけなのですね？

委員：暑さだけなのです。

委員：でも、あの部屋を今更改装するわけには、リフォームするわけにはいかないでしょ？

委員：だから、今クーラーを置いてもらうという話が出てきて。

委員：でも、あの空調は若干開けとかないと熱が全部中に入ってしまう。基本的に厨房用の業務用なので。そこはもう仕方がないので、温度は上がりますよ。

委員：わかりました。

委員長：いろんなお考えはありますけど、できればやはり将来の子どもたちの快適な場所として提供したいという思いもありますので。できましたら空調のところで予算をなんとかできればいいかなと思いますけどね。よろしくお願いします。

委員長：他にどうでしょうか？ ございませんか？ 要望もどんどんおっしゃってください。大丈夫ですか？ よろしいでしょうか？

委員長：では、これで皆さんからのご意見いただいたということで、令和7年度第2回の松阪市図書館委員会を終わりにさせていただきたいと思えます。本当にいろんなご意見を頂戴しました、どうもありがとうございました。事務局へ進行をお返しします。

事務局：会長ありがとうございました。皆さんにおかれましてはありがとうございました。

いました。これをもちまして令和 7 年度第 2 回松阪市図書館協議会を終了させていただきます。本日は大変お疲れ様でした。ありがとうございました。